

## 10月の天候

2020年（令和2年）10月の日本の天候は、気温は北日本で高くなりました。降水量は東日本日本海側でかなり少なく、東・西日本太平洋側で多くなりました。日照時間は北日本と東日本太平洋側で少なく、西日本と沖縄・奄美で多くなりました。

2020年（令和2年）10月の天候の特徴は以下のとおりです。

○気温は北日本で高くなりました

暖かい空気が流れ込みやすかったため、気温は北日本で高くなりました。

○降水量は東日本日本海側でかなり少なく、東・西日本太平洋側で多くなりました

中旬を中心に高気圧に覆われやすかった東日本日本海側では、降水量はかなり少なくなりました。一方、東・西日本太平洋側では、台風第14号により活発化した前線の影響等で、降水量が多くなりました。

○日照時間は北日本と東日本太平洋側で少なく、西日本と沖縄・奄美で多くなりました

上旬を中心に低気圧や前線、湿った空気の影響を受けやすかったため、日照時間は北日本と東日本太平洋側で少なくなりました。一方、上旬は沖縄・奄美、下旬は西日本を中心に高気圧に覆われやすかったため、それぞれ日照時間は多くなりました。

別紙（概況、統計値等）[PDF形式:512KB]

[https://www.data.jma.go.jp/obd/stats/data/stat/tenko202010\\_besshi.pdf](https://www.data.jma.go.jp/obd/stats/data/stat/tenko202010_besshi.pdf)

問合せ先：大気海洋部 観測整備計画課 担当 村井(観測値や記録について)  
電話 03-3212-8341 (内線 4156) FAX 03-3217-3615  
大気海洋部 気候情報課 担当 中三川(天候の解説について)  
電話 03-3212-8341 (内線 3166) FAX 03-3211-8406